

公益財団法人 日本サッカー協会
2012年度 第9回理事会

報告事項

1. F I F Aクラブワールドカップの件
<p>(1) 大会結果について (報告) 資料No.1</p> <p>(2) 活動について 以下にて各種活動を実施した。</p> <p>① <u>出場クラブ選手サイン入りフラッグ、メッセージ DVD の制作、贈呈</u> 被災地において対象となる 62 の小学生チームそれぞれのチーム名が入ったサイン入りフラッグ、それぞれのチームに向けて収録されたメッセージ DVD を制作済み。大会終了後、年内に各チームへ贈呈する。</p> <p>② <u>出場クラブ選手メッセージ動画、復興支援活動レポートの JFA 公式サイトへの掲載</u> それぞれの対象チームに向けて収録したメッセージ動画や支援活動レポートを特設サイトに掲載済み。 (報告) 資料No.2</p>
2. F I F A理事会の件
<p>12月14日にF I F A理事会が東京で開催された。主な決定事項と報告事項は以下の通り。</p> <p><選手の第三者所有権> 選手の第三者所有権に関する効果的な規則を提案するため、徹底して検討していくことを確認した。</p> <p><ガバナンス改革プロセス> 大陸連盟事務総長と法務部長で構成されたワーキンググループを創設し、11月12日にミーティングを開催し、その後209加盟協会に意見を聞いた。2013年2月に再度ミーティングを行う。</p> <p><加盟協会関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ インドネシア：3ヶ月のロードマップを提出した。次回の加盟協会委員会（2013年2月14日）と理事会（3月20日・21日）で再度調査検討し、状況を正常化させるため最終決定を下すこととした。 ▶ シエラレオーネ：協会の日常業務をし、選挙手続きを再構築し、選挙を実施するため2013年1月15日までの間、正常化委員会を設立した。更なる時間が必要となり、2013年7月31日まで延長することとした。 ▶ コソボ：F I F A加盟協会ではないが、コソボと国際親善試合を行うことを2012年5月21日にF I F A理事会は許可している。本日のF I F A理事会にて、それはユース、アマチュア、女子、クラブに関して許可する決定とすることに合意した。 <p><2018F I F Aワールドカップ ロシア></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ モスクワのLuzhniki スタジアムで、開幕戦・準決勝1試合・決勝を行うことを決定した。 ▶ サンクトペテルスブルグのFIFAワールドカップスタジアムで準決勝1試合を行うことを決定した。

< F I F Aコンフェデレーションカップ ロシア 2017 >

以下の4会場が承認された。

カザン：FIFA ワールドカップスタジアム

ソチ：FIFA ワールドカップスタジアム

モスクワ：Spartak スタジアム

サンクトペテルスブルグ：FIFA ワールドカップスタジアム

< F I F Aコンフェデレーションカップ ロシア 2017 と 2018 F I F Aワールドカップ ロシアの公式宿泊代理店 >

公開入札の結果、Byrom plc を公式宿泊代理店に指名するという財務委員会の決定を確認した。

< F I F Aセイフティー・セキュリティー新規則 >

F I F Aセイフティー・セキュリティー新規則を承認した。

主に見直したのは、セキュリティーコンセプトを広げることである。

次の段階は、F I F A加盟協会やセキュリティーオフィサーワークショップを実施する支援や、F I F Aファンフェスタでセイフティー・セキュリティーの助言をすること、スタジアムの視察や収容人員の調査をすることである。

更に、F I F A理事会は、各スタジアムにAEDを配備することを推奨した。

3. AFC理事会の件

11月28日にAFC理事会がマレーシアで開催された。主な決定事項と報告事項は以下の通り。

- 来年4月末までにAFC総会を開催し、AFC女性副会長、女性理事会メンバー2議席とFIFA理事1議席の選挙を行う。AFC会長職に関しては1月中旬までに開催されるAFC法務委員会の結果を踏まえて選挙を行うとした。
- AFCフットサルクラブ選手権2013のホスト国が日本（都市：名古屋、期間：8月27日-9月1日）に決定した。
- AFC U14選手権を実施することを承認した。
- AFCチャレンジカップ（隔年開催）の優勝国は、アジアカップへ自動的出場権を得ていたが、アジアカップ2019ではそれを見直すことを決定した。
- 朝鮮民主主義人民共和国は、AFCチャレンジカップではなく、アジアカップ2019予選に参加することが許可された。但し、アジアカップ予選参加に関し、朝鮮民主主義人民共和国は対戦チームの希望日にフライトを提供し、AFC関係者、チーム、メディア、ファンに遅滞なく査証を発給されることを保証することを条件とした。
- ACLのラウンド16をホーム&アウェー方式で行うことを決定した。（AFC Cup 2013のR16は1試合のみとすることを決定した。）
- ACL2013の国別スロット数を下記のように承認した。

（+の後の数字はプレーオフスロット）

東ゾーン		西ゾーン	
日本	4	サウジアラビア	4
韓国	4	カタール	4
中国	4	イラン	3+1

オーストラリア	1+1	UAE	2+2
ウズベキスタン	1	ウズベキスタン	1+1
タイ	1+1		
計:	15+2	計:	14+4

➤ ACL2013 の決勝は、ホーム&アウェー方式で行うことを決定した。

4. 標章使用申請の件

申請団体： 社団法人石川県サッカー協会

使用目的： 事務所ビルの館内案内用看板 2枚

5. 海外遠征申請の件

(1) 社団法人 宮城県サッカー協会

チー ム ベガルタ仙台ユース (第2種)

遠征期間 2013年1月17日(木)～22日(火)

遠 征 先 モンタバウアー/ドイツ

(2) 社団法人 宮城県サッカー協会

チー ム ベガルタ仙台ジュニアユース (第3種)

遠征期間 2013年1月19日(土)～27日(日)

遠 征 先 ローマ、フィレンツェ/イタリア

(3) 社団法人 神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜マリノスユース (第2種)

遠征期間 2013年1月25日(金)～2月7日(木)

遠 征 先 ドーハ/カタール

(4) 社団法人 神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜マリノス U12 (第4種)

遠征期間 2013年1月19日(土)～24日(木)

遠 征 先 ドーハ/カタール

(5) 社団法人 神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜マリノス U13 (第3種)

遠征期間 2013年1月19日(土)～24日(木)

遠 征 先 ドーハ/カタール

(6) 社団法人 神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜マリノス U14 (第3種)

遠征期間 2013年1月19日(土)～24日(木)

遠 征 先 ドーハ/カタール

(7) 社団法人 新潟県サッカー協会

チー ム アルビレックス新潟ジュニア (第4種)

遠征期間 12月25日(火)～29日(土)

遠 征 先 釜山/韓国

(8) 一般社団法人 鹿児島県サッカー協会

チー ム 鹿児島工業高等専門学校サッカー部 (第1種)
 遠征期間 12月25日(火)～29日(土)
 遠 征 先 釜山/韓国

6. 役員・審判員海外派遣の件

大会役員・審判員の派遣は以下のとおり。

(役員)

① NEW Referee Instructor / Instructor / New Assessor/ Assessor

アセッサー：深野悦子、鮎貝志保

期 間：2013年1月28日～2月7日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

② Referee Instructor / Assessor

アセッサー：廣嶋禎数、大岩真由美

期 間：2013年1月29日～2月7日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

③ Referee Assessor

アセッサー：上川徹、岡田正義

期 間：2013年2月3日～7日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

④ Futsal Referee Instructor Course

インストラクター：平野伸一、五十川和也

期 間：2013年2月1日～6日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

(審判員)

① SUZUKI Cup (Semi-Final)

審判員：大塚晴弘

期 間：12月8日～13日

場 所：シンガポール

② Elite Women Referee & Assistant Reeree Course

審判員：佐藤奈美、山岸佐知子、梶山英紗子、高橋早織、千葉恵美、大島千枝、手代木直美

期 間：2013年1月14日～20日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

③ Elite Men Referee & Assistant Reeree Course

審判員：西村雄一、佐藤隆治、高山啓義、東城穰、當麻政明、飯田淳平、山本雄大

期 間：2013年1月18日～24日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

④ Futsal Referee Course

審判員：宮谷直樹、延本泰一、小崎知広、小林裕之

期 間：2013年1月29日～2月3日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

<p>7. 日本サッカーミュージアムの件</p> <p>(1) 入場者数報告 11月 2,034人 1日平均 78.2人 (2011年 2,691人 2010年 1,651人 2009年 1,859人 2008年 2,177人)</p> <p>(2) 開館9周年 12月22日(土)は、開館9周年記念日とし、有料ゾーンを無料とする。</p> <p>(3) 年末年始特別開館 12月26日(水)～1月6日(日)の期間は無休、開館時間は10:00～18:00。</p>
<p>8. AFC President Travelling Fellow for Football Medicine 2013 参加の件</p> <p>AFC主催のAFC President Travelling Fellow for Football Medicine 2013に、JFAより推薦していた島川朋享医師が選考され、次のように研修を受けることとなった。</p> <p>受講者：島川 朋享(しまかわ ともあき)/浦添総合病院 整形外科勤務(30歳)</p> <p>期間：2013年1月5日から19日</p> <p>場所：Doha, Qatar (Aspetar Orthopaedic & Sports Medicine Centre) New Delhi, India</p> <p>スケジュール：5日 移動 6日～12日 Fellowship Program Activities (カタール) 13日～ 移動 14日～18日 FIFA-AFC Football Medicine Regional Course (インド) 19日 移動(帰国)</p> <p>費用負担：日本～カタール～インド～日本の航空券代、宿泊代、現地国内移動費等をAFCにて負担</p>
<p>9. AFCフットサルクラブ選手権 開催の件</p> <p>11月19日にタイで行われたAFCフットサル委員会の審議を経て、11月29日にマレーシアで行われたAFC理事会において、AFCフットサルクラブ選手権を2013年8月27日から9月1日まで日本で開催することが決定した。</p> <p>名称：AFCフットサルクラブ選手権2013</p> <p>主催：アジアサッカー連盟</p> <p>主管：公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人愛知県サッカー協会</p> <p>出場チーム：開催国代表(Fリーグ2012優勝チーム)を含む8チーム</p> <p>期間：2013年8月27日(火)～9月1日(日)</p> <p>会場：テバオーシャンアリーナ(愛知県名古屋市)、 パークアリーナ小牧(愛知県小牧市)</p>
<p>10. 感謝状贈呈の件</p> <p>第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」開催地に対して、運営に対する多大な貢献があったことから、感謝状を贈呈する。</p> <p>(贈呈先) 岐阜県、飛騨市、大垣市、養老町、一般財団法人岐阜県サッカー協会</p>

<p>11. 第 92 回天皇杯全日本サッカー選手権大会 準々決勝進出チーム決定の件</p> <p>(報告) 資料No.3</p> <p>第 92 回天皇杯全日本サッカー選手権大会につき、12 月 15 日に開催された 4 回戦の結果を受けて、12 月 23 日に開催される準々決勝進出 8 チームが決定した。</p> <p><4 回戦結果></p> <p>トーナメント表別紙参照</p>															
<p>12. J F A ロングパイル人工芝ピッチ公認 (更新) の件</p> <p>(更新)</p> <p>(1) 公認申請者：福島市</p> <p>施設名：福島市十六沼公園サッカー場 A</p> <p>施設所有者：福島市長 瀬戸 孝則 (せと たかのり)</p> <p>ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ (XP-62) / 住友ゴム工業㈱</p> <p>公認期間：2012 年 12 月 20 日～2015 年 12 月 19 日</p> <p>公認番号：第 31 号</p> <p><特記事項></p> <p>公認規程に基づき 1 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。なお、公認規定が推奨する下地構造を満たす施設の全面張替につき、人工芝敷設前のフィールドテストを免除した。</p> <p>(2) 公認申請者：福島市</p> <p>施設名：福島市十六沼公園サッカー場 B</p> <p>施設所有者：福島市長 瀬戸 孝則 (せと たかのり)</p> <p>ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ (XP-62) / 住友ゴム工業㈱</p> <p>公認期間：2012 年 12 月 20 日～2015 年 12 月 19 日</p> <p>公認番号：第 32 号</p> <p><特記事項></p> <p>公認規程に基づき 1 回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。なお、公認規定が推奨する下地構造を満たす施設の全面張替につき、人工芝敷設前のフィールドテストを免除した。</p>															
<p>13. 2012 年度女子 1 級審判員認定の件</p> <p>審判委員会で認定審査を実施し、次の 5 名を女子 1 級審判員として認定した。</p> <p>(合格者)</p> <table border="0"> <tr> <td>草処 和江 (クサドコロ カズエ)</td> <td>関東協会・群馬県</td> <td>31 歳</td> </tr> <tr> <td>助廣 那由 (スケヒロ ナユ)</td> <td>関東協会・千葉県</td> <td>28 歳</td> </tr> <tr> <td>新妻 久美 (ニイツマ クミ)</td> <td>関東協会・東京都</td> <td>31 歳</td> </tr> <tr> <td>山下 良美 (ヤマシタ ヨシミ)</td> <td>関東協会・東京都</td> <td>26 歳</td> </tr> <tr> <td>金崎 藍子 (カナサキ アイコ)</td> <td>九州協会・長崎県</td> <td>24 歳</td> </tr> </table> <p>※年齢は 2012 年 12 月 17 日現在。</p>	草処 和江 (クサドコロ カズエ)	関東協会・群馬県	31 歳	助廣 那由 (スケヒロ ナユ)	関東協会・千葉県	28 歳	新妻 久美 (ニイツマ クミ)	関東協会・東京都	31 歳	山下 良美 (ヤマシタ ヨシミ)	関東協会・東京都	26 歳	金崎 藍子 (カナサキ アイコ)	九州協会・長崎県	24 歳
草処 和江 (クサドコロ カズエ)	関東協会・群馬県	31 歳													
助廣 那由 (スケヒロ ナユ)	関東協会・千葉県	28 歳													
新妻 久美 (ニイツマ クミ)	関東協会・東京都	31 歳													
山下 良美 (ヤマシタ ヨシミ)	関東協会・東京都	26 歳													
金崎 藍子 (カナサキ アイコ)	九州協会・長崎県	24 歳													

14. レフェリーカレッジ修了の件

以下の受講生 4 名が、当初定めた 2 年間の定期講習、集中講習、地元講習に対して積極的に取り組み、その課程を修了した。

8 期生 (2011 年入学生)

俵 元希 (タワラ ゲンキ)	関東協会・東京都	25 歳
鈴木 規志 (スズキ ノリユキ)	東海協会・三重県	27 歳
堀 格郎 (ホリ カクロウ)	中国協会・岡山県	27 歳
津野 洋平 (ツノ ヨウヘイ)	九州協会・長崎県	27 歳

※年齢は 2012 年 12 月 17 日現在。

15. スーパー少女プロジェクトの件

行事名：スーパー少女プロジェクト トレーニングキャンプ

期 間：11 月 23 日 (金・祝) ～ 25 日 (日)

場 所：時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド/静岡県裾野市

[スケジュール]

11 月 23 日 (金・祝) 集合 → フィジカル測定・トレーニング・ミーティング
 24 日 (土) トレーニング・ミーティング
 25 日 (日) トレーニング・ミーティング・札幌市内観光 → 解散

[スタッフ]

GK コーチ : 西入 俊浩 (JFA ナショナルトレセンコーチ/JFA アカデミー堺)
 GK コーチ : 川島 透 (JFA ナショナルコーチングスタッフ)
 GK コーチ : 轟 奈都子 (JFA ナショナルトレセンコーチ/セレッソ大阪)
 GK コーチ : 坂本 圭哉 (青山学院高等部)
 ドクター : 内田 繕博 (清泉クリニック整形外科)
 総務 : 今関 葉子 (JFA 女子部)

[選手 (GK)]

高橋 智子 (新潟県：アルビレックス新潟レディース U-18)
 出水ひより (愛知県：名古屋 FC レディース)
 福永絵梨香 (大阪府：高槻フットボールクラブジュニアユース)
 宮越 絢子 (兵庫県：INAC 神戸レオネッサ U-18)
 戸田 梨瑚 (北海道：旭川女子アチーブ)
 中井 宝子 (静岡県：ジュビロ磐田レディース)
 高木 恵生 (福岡県：ANCLAS ユース)
 若林 祐衣 (大分県：大分トリニータ レディース)
 戸塚さくら (東京都：北区さくらガールズ)
 梅木 小夏 (埼玉県：浦和レッズダイモンスレディースジュニアユース)
 山下 笑 (大阪府：セレッソ大阪レディース)
 米澤 萌香 (東京都：日テレ・メニーナ・セリアス)
 秦 久瑠実 (大分県：大分トリニータ レディース)
 湯浅里香子 (広島県：青崎サッカークラブ Hanako Clover's)

飛嶋菜々子 (埼玉県：大宮 FC エンジェルス)
 宝田 沙織 (大阪府：レソソ大阪レディース(JFAアカデミー堺)) 計 16 名

16. フットサル日本女子代表 第3回世界女子フットサルトーナメントの件

行事名：フットサル日本女子代表 第3回世界女子フットサルトーナメント

期 間：11月25日(日)～12月11日(火)

場 所：愛知県名古屋市、ポルト/ポルトガル

[スケジュール]

11月25日(日) PM 集合
 11月26日(月) AM 練習試合 vs. 汐止足球倶楽部 (台湾) ○5-1 (1-0) PM トレーニング
 11月27日(火) AM トレーニング、PM 練習試合 vs. 名古屋オーシャンズ U-15 ●3-5 (2-2)
 11月28日(水) AM/PM トレーニング、移動 名古屋→関西空港
 11月29日(木) 移動 関西空港→フランクフルト→ポルト
 11月30日(金) AM/PM トレーニング
 12月01日(土) AM/PM トレーニング
 12月02日(日) AM/PM トレーニング
 12月03日(月) グループリーグ第1戦 vs. ポルトガル女子代表 ●1-5(0-4)
 12月04日(火) AM/PM トレーニング
 12月05日(水) グループリーグ第2戦 vs. ベネズエラ女子代表 ○4-3(2-0)
 12月06日(木) グループリーグ第3戦 vs. イラン女子代表 ○2-1(2-0)
 12月07日(金) グループリーグ第4戦 vs. ブラジル女子代表 ●0-5(0-3)
 12月08日(土) 5位決定戦 vs. ウクライナ女子代表 ●0-4(0-1)
 12月09日(日) 決勝戦
 12月10日(月) 移動
 12月11日(火) 帰国、解散

[スタッフ]

監督	在原 正明	(JFA/東急スポーツシステム株式会社)
コーチ	石森 由紀	(東京都フットサル連盟)
ドクター	山口 徹	(医療法人社団善集会 善衆会病院)
アスレティックトレーナー	松井 史江	(くまざわ整形外科クリニック)
総務	大富部 佳奈子	(JFA 代表チーム部)
主務	山田 薫	(JFA 代表チーム部)

[選手]

GK	本多 さかえ	(バルドラル浦安ラス・ボニータス)
GK	秋元 麻陽	(arco-iris KOBE)
GK	松山 愛	(Estrela NOVO Kawaguchi)
FP	井野 美聡	(arco-iris KOBE)
FP	小出 夏美	(SWH レディースフットサルクラブ)
FP	中島 詩織	(Diamante Logrono/スペイン)
FP	中野 絵美	(arco-iris KOBE)

FP	芝原 夏奈	(カフリングボーイズ東久留米)
FP	関灘 美那子	(arco-iris KOBE)
FP	阿部 真実	(バルドラル浦安ラス・ボニータス)
FP	足利 千春	(Estrela NOVO Kawaguchi)
FP	佐藤 楓	(福岡 J・アングラス)
FP	江口 なおみ	(SWH レディースフットサルクラブ)
FP	吉林 千景	(ファンフットサルクラブレディース)
[サポートメンバー] 11/25 (日) ~11/28 (水) までチームに帯同		
FP	北川 夏奈	(丸岡 RUCK Ladies)
FP	青山 実苗	(golrira shizuoka)
FP	坂田 睦	(SWH レディースフットサルクラブ)
計 17 名		